

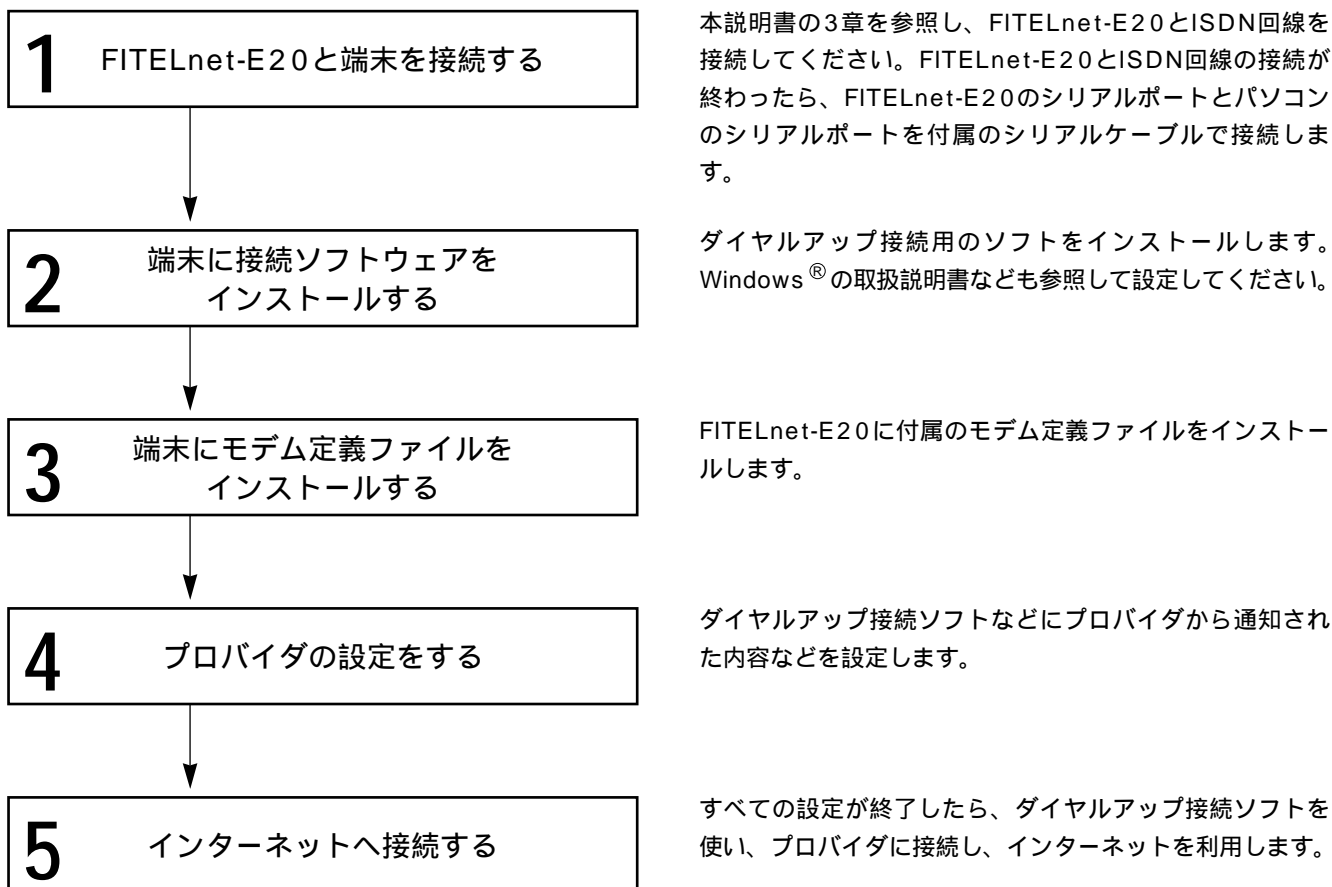
機能概要

FITELnet-E20はTA機能をサポートしています。LANボードを持たない端末でも、端末のシリアルポートとFITELnet-E20を使いインターネットに接続することができます。

Windows[®]でインターネットに接続するには、次のソフトウェアが必要です。

ソフト名	備考
接続ソフト (ダイヤルアップネットワーク)	Windows [®] に付属
モデム定義ファイル	FITELnet-E20に付属

インターネットに接続するまでの作業の流れを次に示します。



お知らせ

TA機能とルータ機能を同時にご利用になる場合は、以下の注意が必要です。

- WANをISDN2回線使用する形態にする。
- ルーティング機能で使用するIPインタフェースは1つにする。

具体的な設定方法は、以下のようになります。

WANをISDN2回線使用する形態にする。
 コンフィグレーションモードにて、"wan isdn dual"コマンドを入力します。

```
conf# wan isdn dual
```

ルーティング機能で使用するIPインタフェースは1つにする。
 コンフィグレーションモードの"interface"コマンドで、" isdn2"の設定を"down"に指定します。

例)

```
conf#interface isdn1 remote=192.168.20.1,255.255.255.0
    ISDN1のインタフェースを設定する
conf#interface isdn2 down
    ISDN2のインタフェースは"down"を指定する
```

接続ソフトをインストールするには

Windows® 98にはダイヤルアップネットワーク用の接続ソフトが付属しています。Windows® 98でダイヤルアップ接続ソフトを使用するための設定方法は次の通りです。すでにダイヤルアップネットワークをインストールしているときは、この章の操作は不要です。

- 1 [スタート]から[設定]を経て、[コントロールパネル]を選択します。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2 「コントロールパネル」ウィンドウ内の [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 [Windowsファイル] タブを選択します。

- 4 「ファイルの種類」の中から [通信] をダブルクリックします。

「通信」が表示されます。

- 5 「ファイルの種類」の中から [ダイヤルアップネットワーク] をクリックしてチェックします。

ダイヤルアップネットワークのインストールが開始します。インストール中の操作は画面の指示にしたがってください。Windows® 98のインストールCDが必要な場合があります。インストール終了後は、パソコンを再起動してください。

お知らせ

OSのバージョンによって操作が若干違うことがあります。Windows® 98の説明書も参考にしてください。

モデム定義ファイルをインストールするには

FITELnet-E20に付属しているモデム定義ファイルをインストールします。

- 1 [スタート]から[設定]を経て、[コントロールパネル]を選択します。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」ウィンドウ内の[モデム]をダブルクリックします。
いままでにモデムを接続していない場合は、「モデムウィザード」が起動します。
- 3 [モデムを一覧から選択するので検出しない]をクリックしてチェックします。
[次へ]ボタンをクリックします。画面が切り替わります。
- 4 [ディスク使用]をクリックします。
「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。
- 5 [配布ファイルのコピー元]に、FITELnet-E20に添付しているCD-ROMを挿入したドライブのディレクトリ名を指定し、[OK]ボタンをクリックします。
- 6 利用する通信モードに応じたモデム定義ファイルを選択します。

各ファイルの内容は下記の通りです。

モデム定義ファイル名	内容
FITELnet-E (PIAFS32k)	32kbpsPIAFS通信用
FITELnet-E (PIAFS64k)	64kbpsPIAFS (2.0) 通信用
FITELnet-E (PIAFS64kB)	64kbpsPIAFS (2.1) 通信用
FITELnet-E (PPP)	64kbps同期通信用

モデム定義ファイルを選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。画面が切り替わります。

- 7 [モデムを接続するポート]で、FITELnet-E20を接続しているポートを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。モデム定義ファイルのインストール・セットアップが開始します。
- 8 インストール・セットアップが終了したら、[完了]ボタンをクリックしてください。

お知らせ

手順2では、すでに何らかのモデムを設定している場合は、「モデムのプロパティ」が表示されます。[追加]をクリックすると、モデムウィザードが起動します。PCMCIAソケット対応(PCカード)のパソコンでは、「モデムのプロパティ」からモデムウィザードを起動する前に、もう一つウィンドウが表示されます。[開く]をクリックしてください。モデムウィザードが起動します。

プロバイダの設定

インターネットサービスプロバイダと接続するための設定操作を行います。

- 1 「マイコンピュータ」ウィンドウ内の [ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックします。
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。
- 2 [新しい接続] をダブルクリックします。
「新しい接続」ウィンドウが表示されます。
- 3 [接続名] に接続先のプロバイダ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 4 [市外局番] [電話番号] に接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 5 [完了] ボタンをクリックします。
接続先プロバイダ名のダイヤルアップ接続アイコンが作成されます。
- 6 作成した接続先プロバイダのアイコンをクリックして、選択された状態 (アクティブ) にします。
- 7 [ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。
- 8 [サーバの種類] をクリックします。
「サーバの種類」ウィンドウが表示されます。
- 9 [使用できるネットワークプロトコル] 内の [TCP/IP] をクリックしてチェックします。TCP/IP以外のチェックはすべてはずしてください。
- 10 [TCP/IP] をクリックします。
「TCP/IP設定」ウィンドウが表示されます。
- 11 TCP/IPの設定をします。
[サーバが割り当てたIPアドレス] をクリックしてチェックします。すでにチェックされている場合、操作は要りません。
[ネームサーバアドレスを指定] をクリックしてチェックします。
[プライマリDNS] にプロバイダから通知されたDNS (ドメインネームサーバ) のアドレスを入力します。入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

お知らせ

[サーバの種類] タブの場合と [サーバの種類] ボタン場合があります。

プロバイダへの接続

設定操作が終了したら、プロバイダへ接続してみましょう。

- 1 プロバイダの名前のついたダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックします。

「接続」ウィンドウが表示されます。

- 2 [ユーザー名] [パスワード]にプロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、[接続] ボタンをクリックします。

ダイヤルが開始し、プロバイダへの接続を開始します。